

認知症のある人を支えるご家族へ

行方不明にならずに 安心して外出するために



認知症による行方不明などの備えとして、ご家族やまわりの人に知っておいてほしいこと、事前にできることをご紹介します。

日頃から、もしものときのために備えましょう



よく身に着けている物を 知っておきましょう

服装や杖、歩行器、自転車など、本人が外出時に必ず持つ物の色や特徴を覚えておくと、捜すときの手がかりになります。写真を撮っておくとよいです。



目につきやすい服装を してもらいましょう

明るい色の服を着たり、靴や持ち物などに反射材のついたテープなどを身に着けておくと目につきやすいです。
※夜間の交通事故防止にもつながります。



よく行く場所や散歩のルートを知っておきましょう

本人のよく行く場所や通る道、思い出のある場所を知っておくことで、捜す場所の見当が付きやすくなります。



名前や連絡先がわかるものを 身に着けてもらいましょう

洋服や靴、カバンや杖などに、名前や連絡先を記入しておくとし、もしものとき、身元が分かる可能性が高くなります。

行方がわからなくなったら、 できるだけ早く警察に相談しましょう

相談が早ければ早いほど、発見できる可能性が高まります。

できるだけ早めに警察署に連絡しましょう。

(長浜警察署 ☎62-0110 木之本警察署 ☎82-3021)



認知症のある人を支えるご家族へ

行方不明などの備えとしてご活用ください

行方不明情報を地域の協力者に
メールで配信しています
(SOSほんわかネットワーク)

事前に登録することで、行方不明になったときに
早期発見につなげるしくみです。

事前登録をお願いします



△月△日午前△時ごろ○
○付近で、80代男性が
行方不明になりました。

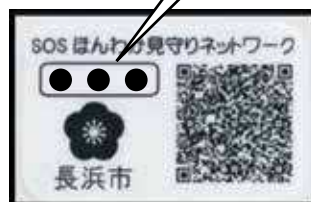
- 身長:160cm
- 体格:やせ型
- 頭髮:白髪
- 服装:茶色の服、杖

このようなメールが
配信されます

見守りシールの配布

事前登録をされた人に、登録番号が書ける
QRコード付きシールを配布します。
発見者が登録番号を伝えることで身元が分かり、
スムーズに、ご家族の元に帰ることができます。
靴やカバン、服などに貼ってお使いいただけます。

ここに番号が書かれています



SOS 見守りカードの配布

登録番号とQRコードが記載された「SOS見守りカード」を
配布しています。持ち歩くことにより、周囲の人に助けを求
めやすくなり、周囲の人は声を掛けやすくなります。カード
と一緒に首から吊り下げて持ち歩くタイプのカードホルダー
をお渡ししています。



ヘルプマークと一緒に活用してください。

GPS 端末の初期費用の補助 (認知症高齢者等家族支援サービス)

GPS端末を持っていただくことにより、
行方がわからなくなった時に、居場所を知
ることができます。サービスに必要な初期
費用を市が補助します。

個人賠償責任保険への加入 (認知症高齢者等おでかけあんしん保険)

事前登録をされた人は、安心して外出が
できるように、もしもの場合に備えて、
市が保険料を負担する個人賠償責任保険
に加入できます。

お問い合わせ

長浜市長寿推進課
メールアドレス

☎65-7841

choju@city.nagahama.lg.jp